

# 国会のしくみとはたらき

## 国会を身近なものとして考えさせる授業例

茨城大学教育学部附属中学校 田中正彦

### 1 時事問題を教材に

本内容は、学習指導要領の公民的分野の内容(3)のイ「民主政治と政治参加」を受けて設定されている。「国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させ、議会制民主主義の意義について考えさせる」とともに、「多数決の原理とその運用の在り方」、「公正な裁判の保障」について理解させることがねらいである。そのため、民主政治の意義を国民主権という立場から生活と関連づけて具体的にとらえさせることが大切である。

公民的分野には私たちの生活と密接な関係にある題材が多い。最近の政治情勢や国際関係に関する情報はマスメディアによって連日報道され、生徒たちも新しい情報を手に入れることが容易である。「国会」の単元は重要語句が数多くあるため、語句の暗記や一問一答問題集で学習をすればよいと考えてしまう生徒もいる。しかし、この単元は社会に出るからこそ必要な知識や考え方が多い単元でもある。時事問題に目を向けると、近年のめまぐるしい政権交代や、与野党の攻防、ねじれ国会などの授業で活用でき、生徒の興味を引きやすい題材も多い。「国会」の授業では、新聞記事や統計資料などから、時事に即した授業資料を集めることが可能である。とくに、

新聞の見出しや各テレビ局のニュースは字数や時間の制約の中で端的にまとめられており、入手、編集も容易である。

政治に興味をもたせ、主権者として政治に参加する意義を自覚させるとともに、将来を担う人材を育成することは社会科教員の使命であり醍醐味でもあると考える。

### 2 授業の構想(2時間扱い)

#### 【1時間目】国会の仕事としくみ

##### (1) 内容

国会はどのような仕事をし、どのようなしくみをとっているのかを理解する。

##### (2) 本時の目標

- ・資料から衆議院と参議院の違いを読み取り、二院制が取り入れられている理由を考え、自分の意見を表現する。(思考・判断・表現)
- ・国会のおもな仕事としくみについて理解し、その知識を身につける。(知識・理解)

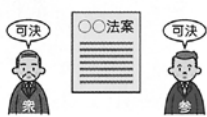






##### (3) 展開

①国会議員や地方議員の顔写真を提示し、国会議員は衆議院議員と参議院議員に分かれることを確認する。

安倍晋三 野田佳彦 蓮舫

猪瀬直樹 橋下徹 谷亮子 など

議員の種類を限定せずに、知っている議員について自由に発表させる。生徒は衆参議員、地方議員、前・元議員など知っている名前を

<p>法律案の議決</p> <p>第59条 国会の仕事の中で最も重要なもので、両院の可決で制定される。</p> 	<p>国政調査</p> <p>第62条 国政に関する調査を行い、証人喚問や記録の提出を要求することができる。</p> 	<p>弾劾裁判所の設置</p> <p>第64条 重大なあやまちをおかした裁判官をやめさせるかどうか判断する。</p> 	<p>条約の承認</p> <p>第61-73条 条約を締結する場合は、国会の承認を必要とする。</p> 
<p>内閣総理大臣の指名</p> <p>第67条 国会が、国会議員の中から指名を行う。</p> 	<p>内閣不信任の決議</p> <p>第69条 この決議ができるのは衆議院のみ。</p> 	<p>予算の議決</p> <p>第60・86条 国の歳入や歳出にかかわる計画(予算)は、国会の審議を経て、承認を受ける必要がある。</p> 	<p>憲法改正の発議</p> <p>第96条 各議院の総議員の3分の2以上の賛成により、発議する。両院は対等。</p> 

『アドバンス 中学公民資料』 p.48 「1国会のおもな仕事」

10名位は発表できるであろう。その中から国会議員を選び出し、国会のしくみや、国会議員はどのような仕事をしているのかなど、これからの学習に対する興味をもたせる。

②国会がどのような仕事をしているか『社会科学 中学生の公民』（以下、教科書）p.82から調べる。

- 唯一の立法機関 予算の作成
- 内閣総理大臣の指名 弾劾裁判所の設置
- 憲法改正の発議 国政調査権 など

『アドバンス 中学公民資料』（以下、『アドバンス』）p.48を使い、国会の仕事についてノートやワークシートにまとめさせる。そして、国会は「国権の最高機関」であるのはなぜか問い、三権の中で国会議員だけが国民の直接選挙で選ばれることとその重さを認識させる。

③国会の種類について調べる。

- 通常国会 特別国会 臨時国会

通常国会、特別国会、臨時国会といった国会の種類について調べさせる。それぞれの国会がどのような特徴をもっているのか、教科書や資料集で調べさせる。その後、衆議院選挙直後の本会議の写真や映像を提示し、上記3つのいずれの国会にあてはまるか発表させる。その際、判断理由もあわせて説明させる

ことにより、特別国会が内閣総理大臣を指名するための国会であることを定着させることもできる。

④衆議院と参議院の違いについて調べ、なぜ二院制を採用しているのかを考える。

『アドバンス』p.48を見ながら国会議事堂の建設費が1936年当時で2570万円だったこと、三人の銅像が飾られているが、まだ一か所は空いていることなどを紹介していく。

グループで話し合いをさせ、二院制のメリットをあげさせる。その際、前時までに学習した衆参議員の選出方法の違いについても思い出させたい。また、外国の例なども紹介する（教科書p.101～102）。

⑤ワークシート資料の議員の紹介文を読み、国会で活躍してほしい人を選び、その理由を発表しあう。

議員の主張から、どの人に国会で活躍してほしいかを選ばせ、意見をどう反映できるかを考えさせる。投票することは自分の権利であるが、責任もともなうことを実感させるために、なぜその議員を選んだのか理由をきちんと表現させる。選挙の時期と重なれば、実際の選挙公報を使うことも可能である。また、学年担当の先生にちなんで選挙公報を作成し

資料①  
議員の紹介

① 川又候補  
初出馬。テレビで教育評論家として活躍。そのため、家庭問題などに力を入れており、児童虐待防止に積極的に取り組んでいる。またそのほかにも少子化対策や自然環境の保護に力を入れている。

② 菊池候補  
自由民主党の次世代のホープとして注目を浴びている。税制改革に力を入れており、持ち前の計算力で、財政の無駄を訴えている。また、景気対策にも意欲的であり、財政面に強く、期待をされている。

③ 矢崎候補  
今回で2回目の出馬。物事に対してはっきりと自分の意見を言える議員。相手がだれてであろうともしっかりと意見を言えることが支持率を上げている要因。教育改革や青少年対策に力を入れおり、国会ではたくさんの発言が期待できる。

④ 田中候補  
今回で3回目の出馬。弁護士出身で法律にとても詳しい。また、弁護士時代は防災問題の裁判を得意とし、それを利用して雇用・労働問題に尽力を尽くしている。また、様々な知識を持ち、多方面での活躍が期待できる。

⑤ 小沢候補  
外務大臣も経験する実力者。英語が堪能で通訳なしで他の国の外交官と話し、日本の国政の一部を担っていた。外交・国際協力に力を入れており、茨城空港の発展にも尽力を尽くしており、地元貢献の期待度も高い。

資料の候補者の主張を見て、あなたならどの人に議員として国会で活動してもらいたいですか。

候補者名	理由

ワークシート資料

でも生徒は盛り上がる（ワークシート資料）。

⑥次時の学習内容を知る。

衆議院と参議院でどのように法律が制定されているのか。

【2時間目】国会の現状と課題

(1) 内容

国会ではどのように法律が制定されているかを理解し、どのような課題をかかえているかを考える。

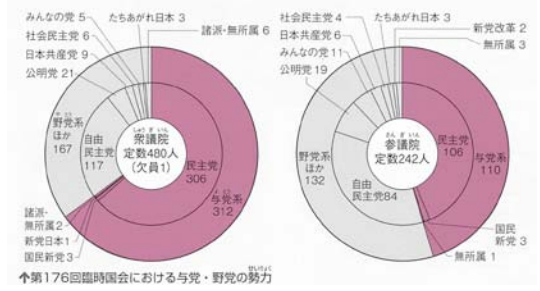
(2) 本時の目標

- ・資料から法律が制定される過程について読み取り、説明する。(技能)
- ・法律の制定のしくみや国会の課題について理解する。(知識・理解)

(3) 展開

①「ねじれ国会」に関する新聞記事あるいはニュース映像を見て「ねじれ国会による問題は何か」という問題意識をもつ。

資料の衆議院、参議院で与野党の議席数が逆転していることを読み取らせてから、前時までに学習した与党の役割、野党の役割を生徒に発表させる。資料のような状態の時には、

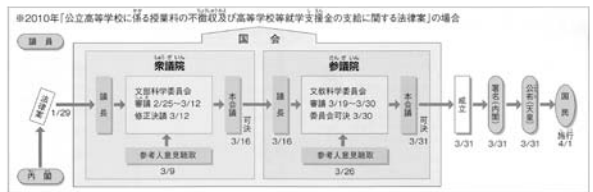


『アドバンス 中学公民資料』 p.50

衆参両議院でそれぞれどの政党の主張が反映されるのか、そしてどのような問題が起こり得るのかを考えさせる。この後の活動である「ねじれ国会」についての話し合い活動の導入とする。

②法律ができるまでの流れを理解する。

委員会 本会議 公聴会



『アドバンス 中学公民資料』 p.50  
①法律ができるまでの流れ

法律ができるまでの流れを順を追っておさえさせる。委員会と本会議の写真等を提示し、違いを確認させる。各議員は委員会に所属して、そこで実質的な審議が行われていることや、必要に応じて公聴会を開くことを調べさせ、国会議員の仕事についての理解を深



↑第175回臨時国会の開会式の様子 (2010年)

『アドバンス 中学公民資料』 p.50

めさせる。また、国会の決議は多数決で行われることや、定足数について補足する。衆議院と参議院で議決が異なると、法案が可決されないことや、可決されないと生活にどのような影響が見られるのかを考えさせる。

③「ねじれ国会」とはどのような現象かを知り、何が具体的に問題となっているのかを考える。

両議院の与野党の議席数を示す。与党になるためには、それぞれの議院で何議席を獲得すればよいのかを考えさせる。選挙が近づくと、「勝敗ライン」「安定多数」「絶対安定多数」などの言葉が報道されるが、その意味を確認していくことで、ニュースや新聞を見る時の視点を増やすことができる。

赤字国債の発行に必要な特例公債法案の成立の遅れにともなう地方公共団体の地方交付金の給付ができない事例について話し合い、ねじれ国会によって、私たちの身近なところにも影響が出ることを理解させる。国会が生活に直結していることと、自分の1票が議員を決めたり、自分の意見が世論の形成に関わったりしていることを理解させ、社会の一員としての自己の役割についても考えさせていきたい。

④衆議院の優越の内容と意義を確認し、衆議院の優越が認められている理由を調べさせ、その意義を話し合わせる。

衆議院が任期満了まで解散しないでいたことは、戦後1回しかないことなどを紹介する。

⑤国会が今後どうあるべきかについて自分の考えをまとめる。

言論の府 議員立法が少ない

国会の問題点をふまえさせたい。選挙公報などから国会議員の思いを取り上げ、日本をよりよ

くするためには何が大切かを考えさせていく。また、将来の有権者として積極的に政治にかかわっていく意識を高めさせていきたい。

### 3 おわりに

近年、選挙の投票率の低下が問題となっている。選挙が近づくと、マスメディアでは政治に関する報道が大量に流されるにもかかわらずである。資料①②は、生徒が毎日記入する1日の生活記録である。生徒Aは選挙の授業の際、「投票所に一番に行くと、投票箱の中が空であることを確認する作業に立ち会える」と話したところ、家族に頼んで投票所に朝から並んだそうである。

今日の生活記録	選挙の最初にやる「何か」箱の中に入っていないか、のチェックを見てきた。
---------	-------------------------------------

資料① 生徒Aの記録

生徒Bは、衆議院選挙の投票率の低さについての感想である。

今日の生活記録	選挙権を行使しなかった人が4割以上もいるというから驚いた。かわりに投票したいくらいだ。
---------	---

資料② 生徒Bの記録

このように、公民で学習したことが授業だけで終わらずに、生活の中に現れることは、社会科教師としてたいへん嬉しいことである。生徒が社会に関心をもち、社会に主体的に参画しようとする社会参画力を育てる授業展開、教材を開発していくことがこれからも課題である。